



支援センターだより



2010.3.発行 vol.65

元気村の冬木立ちも、いつの間にか春の準備を始めています。3月は巢立ちの季節でもあり、皆さん「さむい、さむい」が吹き飛んでしまいそうですか。数年来、広場を活用してくださった親子さんたちの「転勤になりましたー」の声もすでに入ってきています。新たな地へ希望を持って移っていかれるはずのお別れが、やはり感傷的になったりしますね。でも、こうして出会いと別れを繰り返しながら、若い世代は成長していくのですもの。笑顔で見送らせていただきます。「いってらっしゃい。いつでも思い出したら戻ってきてね、元気村へ！」

入園・入学おめでとうの会…幼稚園、保育園、小学校に4月から入る皆さんを送る会をします。2年保育を考えて、センター利用のママたちが「げんきっこ」を実施してきました。そのお子さんたちも春には園児さん。先輩ママたちが次の「げんきっこママ」たちにどうバトンタッチしていくのか、楽しみにしています。

数年ぶりでお顔を見せてくれた方…お子さんが小学生になって張り切って生活しているお話は、スタッフにとってとても嬉しい報告です。これからもどうぞ親御さんだけでも顔を見せてくださいねとお話しました。ファミサポがお隣にあるのでその手続きのついでなんですと言いましたが、思い出してくださることがとても嬉しいです。

センターを使いながら子育てをしてくださった方たちが、地域の中にどんどん広がって、互いに助け合って、人と人の温もりの中で、人が育つことを実感して下さったら、それこそ、私たちの仕事冥利(みょうり)というものです。

両方 仁子

—詩はぜひ声に出して読んでみてください—

さいほうぶんれつ！
 卒という字の中に
 人、人
 いろんなことから
 卒きようするたび
 さいほうぶんれつして
 おとなになっていく
 あたらしいぼく
 これまでのぼくから
 うまれてこい
 十も二十も
 卒(そつ)



詩・杉本深由起「漢字のかんじ」ジュニアポエム双書・銀の鈴社刊

<作者のことば> この詩集が、こどもたちの漢字嫌いをなくすために役立つかどうかは分かりません。でも詩というジャンルを通して漢字にふれるのはおもしろいと思ってもらえれば幸いです。漢字、感じてくださいな。